

1. 商店街地域資源活用事業 **新**

(予算額)22,000千円 既計上額0千円
(所管課)商業金融課

- 交流人口拡大のためのARデジタルスタンプラリーの開催や空き店舗の利活用促進等に要する経費

現状・課題

- 新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し日常生活を取り戻しつつあるが、物価高騰の影響もあり商店街の通行量については、コロナ前比で85%の水準に留まっている。
- TSMCの熊本進出を契機に国内外から新たに本市を訪れる観光客の増加も見込まれることから、商店街において需要を取り込むための受入環境整備を進める必要がある。

事業概要

○事業費:22,000千円

○事業内容

(1)ARデジタル謎解きスタンプラリー事業【8,000千円】

熊本城や中心商店街を巡る周遊スタンプラリーを実施。AR※等のデジタル技術やアプリを活用し、エリア内の周遊を楽しめる謎解き等の要素を盛り込み回遊性を高める。

※スマートフォン等を通し現実空間にCG映像を重ね、あたかも実在するように見える技術

≪積算内訳≫

・業務委託:8,000千円 (スタンプラリー企画・設計、AR作成、広報等)

(2)交流人口拡大支援事業【8,000千円】

商店街団体等が実施するナイトタイムエコノミー推進に繋がる事業や、観光客等を受入れるための環境整備等に対し支援する。

≪積算内訳≫

・商店街等団体への補助:8,000千円 (補助率1/2 申請数8件程度見込み)

(3)商店街出店支援事業【6,000千円】

ア)商店街出店者支援補助金

中小企業者が、市内の商店街の地区内の空き店舗に出店する際に係る経費を補助

イ)空き店舗調査業務

中心市街地「上通エリア」「下通・新市街エリア」「桜町・その他エリア」の空き店舗数の調査業務委託により、件数、面積等を年に2回調査し、空き状況についての情報提供を行う。

≪積算内訳≫

・出店者への補助:5,000千円 ・業務委託:1,000千円

イメージ図

(1)ARデジタル謎解きスタンプラリー事業



デジタルスタンプラリー

(2)交流人口拡大支援事業



飲み歩きチケット

多言語マップ

(3)商店街出店支援事業



店舗改装